

G20 International Conference on Consumer Policy

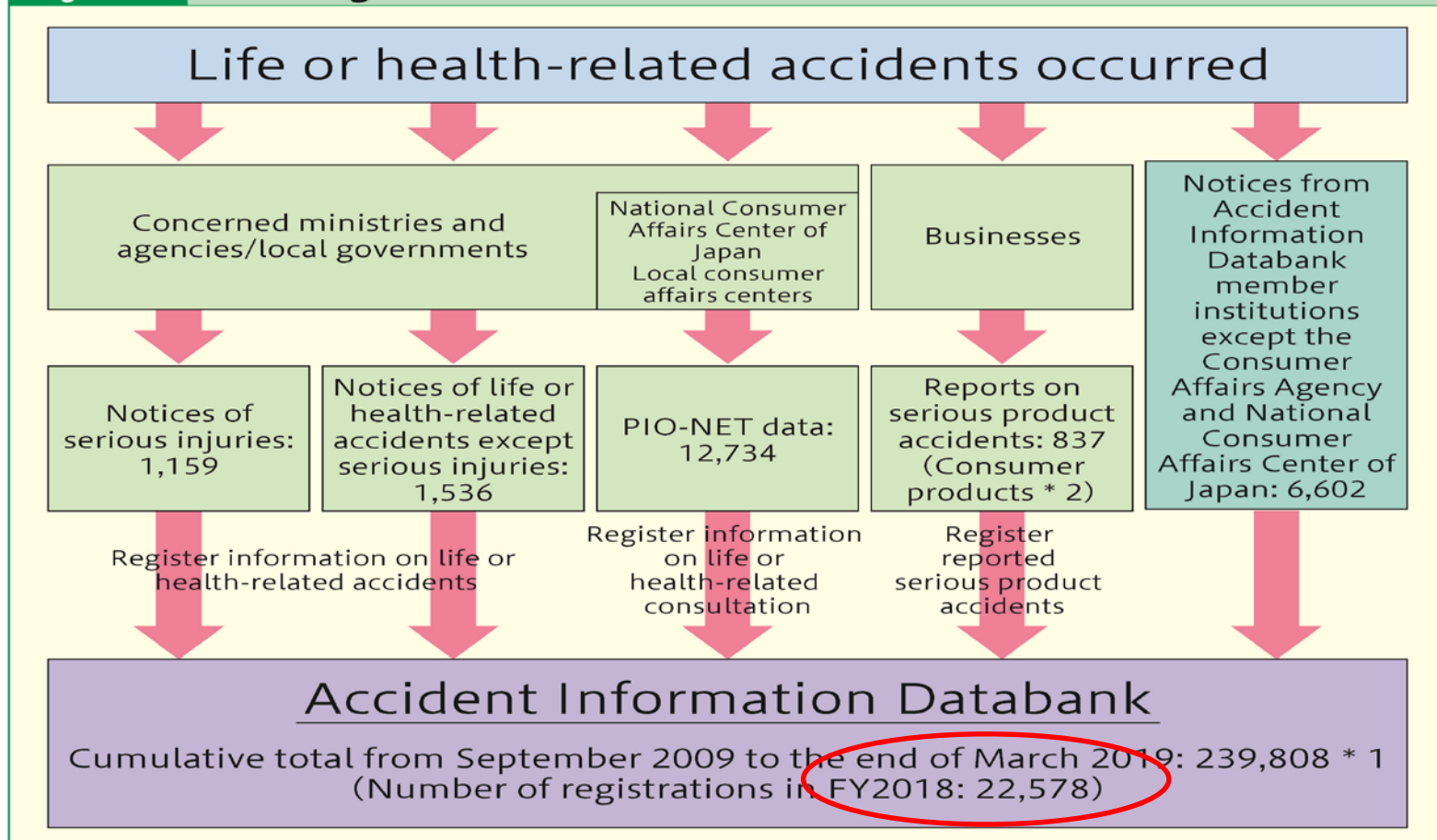
Panel 3: Enhancing the impact of product recalls in Digital Age

Mr. Yoshifumi Ayusawa
Consumer Affairs Agency (CAA)
Government of Japan



Gathering Information

[Figure 35] Gathering information on life or health-related accidents



Safety Warning on Mobile Battery

Warning announcement by CAA [July 31,2019]



News Release

令和元年 7月 31 日

モバイルバッテリーの事故に注意しましょう！

一帰省や旅行の時期、公共交通機関の中での事故は特に危険ですー

モバイルバッテリーは、スマートフォンやタブレット等を充電できる予備の電源として、近年急速に普及しています。軽量でありながら高電圧かつ大電力なため、多くの消費者にとって身近なものになっていますが、取扱いを誤ると発熱によってやけどを負うこともあり、場合によっては事故につながることもあります。

消費者庁には、モバイルバッテリーに関する事故情報が平成 25 年 6 月から令和元年 6 月末までに 162 件寄せられています。中には、公共交通機関の中で事故が起こり、運行が遅延したり、火災が発生した事例もありました。

特に帰省や旅行でモバイルバッテリーを持ち運ぶ機会が増える時期ですので、以下の点に注意しましょう。

- (1) リコール対象製品でないか、リコール情報を確認しましょう。
- (2) 新規に購入する際は、PSE マークを必ず確認しましょう。
- (3) 製品本体に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しないようにしましょう。
- (4) 充電中は周囲に可燃物を置かないようにしましょう。
- (5) 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違って異常を感じたら使用を中止しましょう。
- (6) 充電コネクタの破損や水ぬれに注意しましょう。
- (7) 公共交通機関での事故を避けるため、持込規則を確認して、それに従いましょう。
- (8) 使用済みモバイルバッテリーはリサイクルに出しましょう。やむを得ず廃棄する際には他の家庭ごみと区別して出しましょう。

1. モバイルバッテリーの仕組み

モバイルバッテリーは持ち運びが容易なバッテリーで、USB タイプの汎用端子等により充電や電力供給を行うことが主な機能です。繰り返し充電することが可能な二次電池が内蔵されており、その多くにリチウムイオン蓄電池が使われています。リチウムイオン蓄電池は、1990 年代に登場したもので、軽量でありながら高電圧かつ大電力で、自己放電による容量低下が少ない電池です (図 1)。

¹ アルカリ乾電池、マンガン乾電池、ボタン電池などの使いきりの電池を一次電池といい、スマートフォンのバッテリーやモバイルバッテリー、自動車のバッテリーのように充電すれば繰り返し使える電池を二次電池といいます。



Accidental Ignition of mobile battery

[photo provided by NITE]

NITE: National Institute
of Technology and Evaluation

Twitter Information by CAA [July 31,2019]



Thank you for listening!
Have a nice stay in Japan!

https://www.caa.go.jp/en/policy/consumer_safety/



Consumer Affairs Agency

